

文化遺産は誰のためにどう守るべきか ～アカデミアと現実世界を行き来しながら 答えを探す生き方のススメ?～

文化遺産保全をご専門とし、これまでUNESCO（国連教育科学文化機関）世界遺産センターをはじめとする多くの最前線での実務経験をもつ宮崎彩さんの講演会です。文化遺産保全の現場において、国際機関における実務・実践と学術研究の両方からアプローチしていく意義、そして現在の研究課題であるメキシコの文化遺産の現状について貴重なお話をいただきます。

日時：2023年6月28日（水）17：00～18：30

場所：六甲台第1キャンパス、アカデミア会館 503 および
Zoom（ハイブリッド形式開催）

講師：宮崎 彩（立命館大学衣笠総合研究機構専門研究員）

申し込み：オンライン申し込み専用フォーム

（オンライン参加は神戸大学学生限定です）

<https://bit.ly/Promis20230628>



※ 対面参加はお申し込み不要です。

※ 右のQRコードからもお申し込み可能です。お申し込みが承認された後、Zoomにアクセスするための情報をご送付いたします。

講師略歴

立命館大学衣笠総合研究機構専門研究員、神戸大学非常勤講師。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士（国際貢献）。国際関係論、歴史建造物保全学の両側面から文化遺産保全についての研究を進めながら、国内外の文化外交、文化遺産保全事業を実施する機関で職務経験を積んだ。様々な「文化遺産」をめぐるポリティックスに焦点を当てながら、持続的な保全の在り方を研究している。

